

## 測量船艇整備事業 評価書

平成27年度		新規事業採択時評価			
事業名(箇所名)	小型測量船(HS型)1隻建造	担当課	船舶課	事業主体	国土交通省 海上保安庁
		担当課長名	上園 政裕		
事業内容	小型測量船(HS型)1隻の建造及び就役				
配備管区及び主な活動海域	第三管区海上保安本部(東京湾及び茨城県から静岡県までの沿岸部、伊豆諸島)				
整備期間	開始	平成28年度	完了	平成29年度	
総事業費(億円)	約9億円				
運用開始年度	平成29年度				
耐用年数	20年				
本事業に関連する事業	老朽小型測量船の解役				
政策(施策)目標	政策目標:安全で安心できる交通安全の確保、治安・生活安全の確保 施策目標:船舶交通の安全と海上の治安を確保する				
事業の効果分析					
(1)必要性・緊急性	<p>小型測量船整備の必要性</p> <p>(1)海上の安全確保、海洋権益の確保、海洋資源の開発・利用といった様々な目的のため測量船が実施している海洋調査の重要性は、わが国の管轄海域や新たな海洋資源の開発・利用等への関心の高まりとともに、一層増大しており、より広範囲かつ正確な海洋調査の実施が求められている。</p> <p>(2)また、オリンピック・パラリンピックの開催に伴い東京湾内の船舶交通がより一層輻輳することが懸念されることから、海上交通安全対策の強化を図るため、海図等の改訂・作成のための調査を進める必要があり、海洋調査体制の強化を図る必要がある。</p> <p>小型測量船整備の緊急性</p> <p>被代替船は、建造から20年以上が経過しているため、調査能力が低下しているほか、船底破口や主機関等の故障が頻発し、稼働率の低下に至るなど、業務に支障が生じている状況にある。</p>				
(2)事業の効果	<p>本事業で小型測量船を整備することにより期待される、業務上の主な効果は以下のとおり。</p> <p>旧船型比3.5倍となる水深700mまでの海域にて、面的な海洋調査能力を得ることができる。 浅海用マルチビーム測深機・中浅海用マルチビーム測深機</p> <p>旧船型5.5倍となる水深400mまでの海域にて、海潮流の速さと方向測定が可能となる。 浅海用多層音波流速計・中浅海用多層音波流速計</p> <p>港域内で多数停泊する船舶の直下などにおいても海底異物調査が可能となり、隙のない海上警備に寄与できる。 インターフェロメトリ測深機</p> <p>詳細な水質調査能力及び海洋汚染調査能力を得ることができる。 多成分水質計、採泥器等</p>				
(3)主たる効果の抽出	<p>整備しようとする小型測量船は、海上保安業務の遂行に必要な速力、航続距離、海洋調査能力等を有していることから、港湾及び周辺海域における海洋調査体制の強化を図ることができる。</p>				
事業の総合評価	<p>事業内容及び評価結果が適当であると判断。</p> <p>&lt;船舶建造等整備事業評価委員会(第三者委員会)の意見・反映内容&gt; 新規事業化については、妥当である。</p>				

【小型測量船(HS型)】



【小型測量船の老朽化状況】

